

誤びゅう削減のお願い



平素より税関行政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

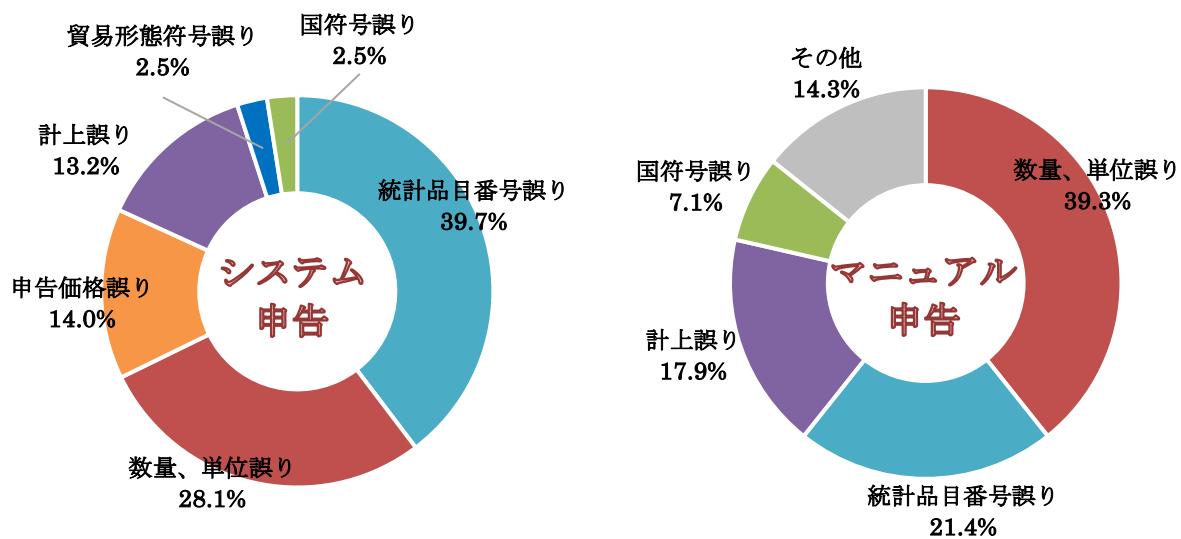
輸出入申告書等のデータを基に作成されている「貿易統計」は、国際収支統計や経済政策の策定のための基礎資料となるなど、わが国の貿易の実態を最も的確に把握できる統計として重要な役割を果たしております。

横浜税関では2024年に発生した「誤びゅう原因」並びにこれまでに発生した主な「誤びゅう事例」を取りまとめましたので、これらを参考にして頂き、より正確な貿易統計の作成にご協力をお願いいたします。

(1) 誤びゅうの主な原因

2024年に発生した誤びゅうの主な原因は、システム申告においては、「統計品目番号」及び「数量・単位」によるものが全体のおよそ7割を占めています。マニュアル申告においては、システム申告同様「統計品目番号」、「数量・単位」誤りのほか、単純な記載ミスが多く見られます。

2024年の誤びゅう原因



(2) 誤びゅう事例

①統計品目番号の誤り

【事例1】材質の未確認

真鍮製のティーポットの輸入申告において、銅製の食卓用品と申告すべきところ、ステンレス製の食卓用品として申告。

【事例2】再輸入品の誤り

日本国内で建造した中古貨物船の再輸入申告において、再輸出入品識別符号「Y」を入力せず申告。

※注意点

材質や用途等により、統計品目番号が異なる貨物については、商品説明や製造工程を入手するなど、詳細をよく確認する必要があります。

また、普通貿易統計上の再輸出品又は再輸入品である場合は、再輸出入品識別符号として、統計品目番号の末尾に「Y」を入力する必要があります。

②数量、単位の誤り

【事例1】申告数量の入力誤り

集成材の輸出申告において、インボイスに記載の数量のピリオドとカンマを見誤り、本来 68 (CM) として申告すべきところ、68,861 (CM) として申告。

【事例2】申告数量の誤り

ダンプカーの輸出申告において、第2数量の単位は「NO」であるところ、貨物重量 (KG) を個数の値として申告。

※注意点

数量の誤りについては、ピリオドとカンマを見誤るケースや、KG と MT、GR と KG、L と KL など、インボイスに記載の単位と申告単位（第1単位及び第2単位）を誤るケースが多く発生しています。

申告の際、数量が不自然に大きく（小さく）なっていないか、また第1数量と第2数量の関係が不自然になっていないかどうか、よく確認する必要があります。

③申告価格の誤り

【事例1】通貨種別の入力誤り

ステンレス製の棒の輸出申告において、インボイスに記載の通貨種別「JPY」を誤って「USD」と入力して申告。

【事例2】申告価格の入力誤り

冷間圧延ステンレス板の輸出申告において、インボイスに記載の価格のピリオドとカンマと見誤り、本来 FOB 価格 25,650 (USD) と入力して申告すべきところ、25,650,000 (USD) と桁数を誤って入力し申告。

※注意点

通貨種別の誤りは、インボイス等の申告書類をよく確認していれば防ぐことができたものが多いことから、申告の際には入念に確認をお願いします。

また、ピリオドとカンマとの違いにより 1,000 倍の誤りが発生するため、不自然に大きい（小さい）数字の場合は必ず確認をお願いします。

④計上誤り

【事例 1】展覧会等に出品するための貨物

美術品の輸入申告において、展覧会出品のため無償で輸入し、終了後は再度輸出する貨物で、外国貿易等に関する統計基本通達 21-2(7) チに規定する普通貿易統計計上除外貨物として、統計品目番号の末尾に「E」を入力すべきところ、入力せず統計計上貨物として申告。

【事例 2】通過貿易統計計上貨物

中古車の積戻し申告において、通過貿易統計計上貨物として、統計品目番号の末尾に「T」を入力すべきところ、誤って再輸出入品識別符号「Y」を入力して申告。

※注意点

統計計上については、「外国貿易等に関する統計基本通達」により、普通貿易統計及び通過貿易統計への計上の要否を確認いただくとともに、統計品目番号末尾に付す「Y」、「E」、「T」それぞれの違いについてご理解願います。

今回ご紹介した事例は一例ですが、誤りの多くは、統計品目番号、数量及び申告価格の誤りに起因しています。通貨単位や数量単位の誤りなどの単純なミスにより、価格や数量が100倍、1,000倍になることもあります。

これらの誤りが、貿易統計に大きな影響を与える可能性もありますので、内容を十分に確認して輸出入申告していただくようお願いいたします。

また、システム申告の輸出入申告事項登録の際、「価格再確認」欄に「H」（統計品目番号ごとの申告価格がシステムに登録されている単価の範囲を上回っている場合）や「L」（単価の範囲を下回っている場合）が出力されていることが数多くあります。

「H」または「L」が表示された際は、高価または安価な理由を確認するだけでなく、統計品目番号、通貨種別、申告価格、数量単位、申告数量などの入力内容に誤りがないか再確認をお願いいたします。（次ページの「価格再確認欄に表示が出た場合について」をご参照下さい。）



別添資料「誤りの防止にご協力ください」のチェック項目について、申告前にもう一度確認を行う等、誤りの防止にご協力をお願いします。

●価格再確認欄に表示が出た場合について

申告価格 (FOB) ¥15,579,840 品目番号 4418.81-910 価格再確認 [L]
数量 (1) 68,861 CM

集成材
¥226/CM

統計品目番号・価格は合っている？

価格再確認 [L]

【ポイント】
単価、数量
をチェック！

数量は合っている？

統計品目番号は集成材！
価格はインボイスどおり！

ピリオドとカンマ
の見誤り……

インボイスに記載されていた
数量は 68.861 CM

数量を見誤って申告！→68CMに訂正

申告価格 (CIF) ¥371,941 品目番号 7323.93-000 価格再確認 [H]
数量 (2) 2.49 KG

ステンレス製
ティーポット
¥149,373/KG

統計品目番号・価格・数量は合っている？

価格再確認 [H]

統計品目番号はステンレス製ティーポット
価格と数量はインボイスどおり！

【ポイント】
品名、材質を確認。
貨物が何であるかを
よく確認のうえ、
分類を検討する！

ステンレス製で合っている？

本来の品名は、
真鍮製のティーポット

材質の誤り……

統計品目番号に誤りがあった！
7418.10-000 (銅製の食卓用品) に訂正





輸出入申告をされる皆様へ

2025年6月
横浜税関

誤びゅう防止にご協力ください！

貿易統計データは、我が国の経済政策策定のための基礎資料や各業界の貿易指標等に幅広く利用されており、データの誤びゅうは、貿易統計の信頼性を揺るがし、国際間の摩擦を引き起こしかねません。

- ✓ 統計品目番号(分類)は正しいですか？
- ✓ 計上単位(KG、MT等)は正しいですか？
- ✓ 通貨種別(USD、JPY等)は正しいですか？
- ✓ カンマと小数点を見間違えていませんか？
- ✓ 国コード、港コード、特恵符号は正しいですか？
- ✓ 特に、NACCS画面の価格再確認欄に
「L」、「H」が表示された場合は、申告単価の
再確認をお願いいたします！！

